外来担当医表

平成29年8月1日現在

			月	火	水	木	金	土
スポーツ整形外科	午前	一般	木村 予約制 中川 大前	木村 予約制 髙柳	萩原 樋口	木村 予約制 柳澤 米山	山田 鈴木浩	柳澤 米山 （第1週） 萩原 塩澤 （第2週） 中川 鈴木浩 （第3週） 萩原 米山 （第4週） 柳澤 中川 山田 （第5週）
		専門		【肘・肩】小林（11:00迄） 【肩】 山本（11:00迄）				
整形外科	午前	一般	恩田 佐藤 山田 清水（第1・3週）	柳澤 中川 常（第1・3・4・5週）	佐藤 髙柳 鈴木浩	萩原 大前	恩田 米山 岡田（第2週）	中川 鈴木浩 石綿 （第1週） 髙柳 大前 山口 （第2週） 柳澤 山田 大前 （第3週） 山田 髙柳 （第4週） 米山 髙柳 （第5週）
		専門		【脊椎】筑田（第2週） 【足】 長谷川				
	午後	一般	常 （第1・3・5週） 鈴木啓（第1・3・5週） 山田 （第2・4週）	髙柳	中川	萩原（第1・3・5週） 柳澤（第2・4週）	鈴木浩 岡田（第2週）	
		専門	【股関節】予約制 佐藤	【ESWT】予約制 柳澤（第1・3・5週） 萩原（第2・4週）	【脊椎】予約制 恩田		【脊椎】予約制 恩田	
泌尿器科	午前	一般	真下 富田	斎藤	岡村 曲	真下 岡村	岡村	真下 富田（10:00～）
	午後	一般	岡村	休診	真下	富田	富田	
		専門	【化学療法】予約制 真下					
内科	午前	一般	谷田部 林 後藤	生方 林 出浦	生方 出浦 相澤	谷田部 相澤 小川	谷田部 生方 出浦	林 相澤 坂入（第1・3・5週） 冨澤（第2・4週）
		専門		【循環器】 依田				【循環器】 星崎
	午後	一般	【循環器】予約制 中島	【循環器】 依田				
外科	午前	一般	遠藤	渡辺	荻原	遠藤	荻原 堤	胃カメラのみ
		専門					【血管外科】予約制 小橿（10:00～）	
麻酔科	午前	一般	岩田	伊藤	河野	人見	交替制	
皮膚科	午後	一般			太田（第1・3・5週）			

※ 木村病院長の診察および特殊外来の一部は予約制です。
※ 整形外科の午後外来は完全予約制で初診患者さんは午前のみの診察です。
※ 生越医師の診察はしばらくの間休診となりますが、別の医師が代診しますのでご相談ください。
※ 金曜日の麻酔科は伊藤→人見→岩田の順の交替制にて診察します。

受付時間				
	午前	全診療科 8:30～12:00（※初診は11:30まで）	午後	泌尿器科 14:00～16:00（※火曜日は休診） 整形外科 15:00～17:00（※完全予約制）

医療法人社団 善衆会
善衆会病院
〒379-2115 群馬県前橋市笂井町54番地1
TEL 027-261-5410(代表) FAX 027-261-5450
TEL 027-261-4890(予約専用)
http://www.zenshukai.com

広報誌「絆」 第65号 2017年9月10日発行 発行：医療法人社団善衆会 善衆会病院 編集：総務課

善衆会病院広報誌「きずな」

絆

広報誌名「絆」の由来
当院と地域住民の方、
当院と近隣医療機関との橋渡しに
なるようにとこの名前がつきました。

Vol.65
2017.09.10

手術室における麻酔科医の役割と麻酔管理

お知らせ

第3回 スポ研サマーセミナーが開催されました

当院の看護師が認知症看護認定看護師を取得しました

前橋市のイベントにて当院の職員が
救護ボランティアとして参加しました

PHOTO

第36回 あかぎ大沼・白樺マラソン大会

赤城山大沼湖畔を舞台とする自然の中、白樺の木陰に涼しい風を感じながら走れるマラソン大会です。
当院の職員が救護ボランティアとして参加しました。

手術室における麻酔科医の役割と麻酔管理

多くの手術では体にメスを入れるため、痛みと大きなストレスがかかります
そこで、手術中の痛みを感じなくさせ、ストレスから患者さんの体を守るため
麻酔科医によって麻酔をかけます
では、麻酔科医は手術を受ける患者さんとどのような関わりがあり、
どのように麻酔管理をしているのか、麻酔科部長の人見医師が解説します

麻酔科部長
人見 振一郎 医師

麻酔とは

麻酔とは、手術において生じる「痛み」や「不安」といったストレスから患者さんを守り、呼吸・循環を含めた全身管理を行うことで、より安全に手術を行い、手術中の患者さんの全身状態を日常通りに維持することを最大の目的とした医療のことを言います。

Q 麻酔科医の仕事について教えてください。

A 麻酔をかけることで、手術における痛みや出血、その他のストレスなどの侵襲から患者さんの身体を守ることが麻酔科医の仕事です。

Q 手術中はずっと付き添っているのですか？

A 患者さんの状態が落ち着いているときは、必ずしも付き添っていません。しかし、その場合でも患者さんは専門のスタッフと生体監視モニターによって見守られています。

Q 手術における麻酔の種類はどんなものがありますか？また、どのような手術をするときに、この麻酔方法を選択しますか？

A 当科で行っている麻酔は全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔および、硬膜外麻酔を併用した全身麻酔です。
全身麻酔は長時間の手術や開腹術に対し行い、術後の痛みを和らげるために、硬膜外麻酔を併用することもあります。脊髄くも膜下麻酔は、短時間の鼠径部（そけいぶ）、下腹部、下肢の手術に対して行っています。硬膜外麻酔は主に前立腺生検術に対して行っています。

Q 局所麻酔と全身麻酔の違いは何ですか？また、脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔は局所麻酔とは別なのですか？

A 麻酔は、手術中に意識のない全身麻酔と、意識のある局所麻酔に分けられます。脊髄くも膜下麻酔も硬膜外麻酔も局所麻酔の一種ですが、いわゆる局所麻酔に比べて、広い範囲に麻酔が効きます。

Q 麻酔によってはリスクが高くなるものもありますか？

A 麻酔の種類によらず、麻酔のリスクは手術を受ける患者さんの状態によるところが非常に大きいです。

Q 麻酔の副作用・合併症はどのような症状がありますか？

A 全身麻酔後の嘔気、嘔吐、口腔内の損傷や、脊髄くも膜下麻酔後の頭痛などがあります。どの合併症も患者さんにとっては苦痛なものですが、ここでは重篤な合併症を取り上げます。
全身麻酔だけに起きる悪性高熱症やどのような薬でも起きる可能性のあるアナフィラキシーショックは全心身状態が良好な患者さんでも可能性があり、しかも起きると重篤です。対処すべき薬は手術室に備えてありますが、命に係わることもあります。幸いにも発生頻度は非常に低いです。
脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔後の穿刺部の出血による神経麻痺は、起きると機能的に重篤です。したがって、術前診察で、出血し易いあるいは血液の固まりにくい体質であるとわかった患者さんにはこのような麻酔を避けています。

Q 手術で麻酔をするとき、サプリメントや健康食品はなぜ控えた方が良いのでしょうか？

A サプリメントや健康食品の中には、血液の循環を良くするために、血液を固まりにくくする作用のものがあります。安全に麻酔をかけるためには、これらを一定期間中止する必要があります。サプリメントや健康食品の作用を全て調べて個々に中止か継続かを決めることは、負担が大き過ぎます。このため当科では全てのサプリメントと健康食品を手術の１週間前に服用を中止してもらっています。

Q 麻酔科医は術後のケアもおこなっていますか？

A 当科では術後管理に直接には関わっていませんが、術後診察で手術後の全ての患者さんの状態を把握しています。術後の痛みを軽減するために、薬を硬膜外や静脈内に持続注入することもあります。

第3回 スポ研サマーセミナーが開催されました

8月24日、今年で3回目となる群馬スポーツ医学研究所主催のサマーセミナーが開催され、70名の方が参加されました。座長は当院の整形外科医で群馬スポーツ医学研究所の柳澤真也医師が務めました。
今回は「女性アスリートのための知っておきたい身体講座」と題して女性アスリート健康支援委員会の委員で、産婦人科専門医かつスポーツドクターである院外の医師をお招きし、講師をしていただきました。
セミナーでは、女性アスリートの3主徴や競技特性別に見た体脂肪率、女性のライフステージにおける健康問題など、アスリートの話や女性ならではの体の悩み等をお話しされました。産婦人科医の視点でのお話を聞け学ぶことができました。

お知らせ NEWS

当院看護師が認知症看護認定看護師の試験に合格しました

当院の看護師が認知症看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師とは日本看護協会認定看護師認定審査に合格しある特定の看護分野（現在は21分野）において、熟練した看護技術と知識を有し、それを実践できる看護師のことをいいます（引用：公益社団法人日本看護協会）。認定看護師が看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりと質の向上をはかることを目的とし、このような制度が制定されました。

認知症看護認定看護師の資格を取得した看護師からは、次のようなコメントをいただきました。

今回、認知症看護認定看護師を取得することができました。
無事合格できたのは、多くの方々の支えと協力があったからだと思います。
2025年には認知症を患う人の数が700万人を超え、65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症に罹患すると言われています。その中で認知症者を多角的にアセスメントする視点や生活環境を整えていくことが重要であると考えます。
そして、日々の関わりから認知症の人が感じていることをその表情や行動から読み取り、それを看護に活かしていけるようにしていきたいと思います。認知症者中心の看護（パーソン・センタード・ケア）ができるチーム医療を確立していくことが目標です。

前橋市のイベントにて当院の職員が救護ボランティアとして参加しました

8月20日、第3回 前橋どろんこラグビー祭り

雨続きの8月でしたが、天候にも恵まれ、幼児から大人までと幅広い年齢層の方々が参加されました。参加者は泥だらけになりながら、ラグビーをはじめ綱引きや徒競走等、様々なプログラムを楽しんでいました。イベント終了後は、放水車による巨大シャワーで泥を洗い流しました。
大きな怪我もなく、無事イベントを終えることができました。

8月27日、第36回 あかぎ大沼・白樺マラソン大会

全国から約2,000名を超えるランナーが参加するこの大会にて救護ランナー・AEDランナー、救護所に分かれ、救護を行いました。今年も例年通り、お天気が好ましくなく霧雨が降っており、肌寒い赤城山大沼湖畔でしたが、ランナーが走り出す頃には少しずつお天気が回復してきました。
大きな怪我もなく、無事に大会を終えることができました。